

(4) 採草放牧兼用地への追播〔枯殺処理をしない場合〕(作溝法)

場所：別海町 別海町畜牛育成牧場

時期：8月1日

は種：メドウフェスク 0.7kg + 白クローバ 0.1kg = 0.8 kg/10a

処理面積：0.5 ha/hr 程度



図31 は種機 シードマチック



図32 円盤で溝切り



図33 溝に種を落とす



図34 は種は収穫後すぐ



図35 は種速度 3~6km/h



図36 条間 15cm



図37 は種深度 5cm程度



図38速く走ると表層がはがれる



図39 出芽状況(20日後)

●作業上の注意点

- ・は種時期は、既存草種との競合を避けるため、早春または1番草後に行う
- ・越冬前の生育を確保するため8月中旬までに行う
- ・既存草が10cm以上伸びてしまった場合は、掃除刈り後施工する
- ・施工後の放牧は、既存植生を抑制し、は種牧草の定着促進につながる
- ・施肥も同時に行えるシードマチックであれば、ダブリン2.5~5kg/10a施用